

ふくしまブルーリスト(侵略的外来種リスト)

(7) その他無脊椎動物

No.	目	科名	和名	学名	特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト区分	国内外来種	県内分布	県内の被害状況	福島県対策優先カテゴリー	被害の深刻度に関する基準	対策事例	備考
節足動物門甲殻綱													
1	十脚目	ザリガニ科	ウチダザリガニ	<i>Pacifastacus leniusculus (Dana)</i>	○	緊急対策外来種		喜多方市(阿賀川)、北塩原村、猪苗代町、磐梯町(情報のみ)、二本松市(安達湖)、須賀川市(砂防ダム湖)、天栄村(情報のみ)、西郷村(堀川ダム及び堀川)、いわき市(小玉ダム湖)	堀川ダム湖内やダム堤体下流域では生息する底生動物の個体数に影響を及ぼしたと思われる。特にダム湖内では顕著。猪苗代平野に侵入した個体群は、水田の水路に侵入し、巣穴を穿つことによって、畦を崩壊させている。その補修に莫大な費用がかかっている。	緊急対策外来種	①②③④	西郷村堀川ダム湖及び堀川流域では西郷村が中心となり、駆除活動が実施されている。いわき市小玉ダムでも駆除活動が実施されている模様。猪苗代平野では地元農家を中心に駆除隊(Gmens)が組織され、駆除活動が実施されている。	日本の侵略的外来種ワースト100
2	十脚目	アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii (Girard)</i>	○	緊急対策外来種		浜通り地方、中通り地方、会津地方それぞれから記録されており、県内には広く分布している。南会津町田島紙園公園の池、その下流側の水田水路に生息。	福島市内で生息が確認されている池沼の中には、池沼内に底生動物がほとんど確認できない状況の場所もある。池沼内に侵入することで、水生昆虫類の産卵床となる抽水植物が壊滅し、甚大な影響を及ぼしている。会津地方における国内希少野生動物植物種の生息地への2021年4月の侵入を確認している。	緊急対策外来種	①②③		日本の侵略的外来種ワースト100
3	十脚目	ヌマエビ科	カワリヌマエビ属種群	<i>Neocaridina spp.</i>				浜通り地方、中通り地方の河川には広く分布しているものと考えられる。現認(小高区内の河川、相馬市松川浦の沼、湿地、福島市内の河川)、文献(阿武隈川中下流域全域)。	福島市内の河川ではヌカエビに置き換わるように個体数が増えている。	その他の総合対策外来種	①		主にシナヌマエビ( <i>N. davidi</i> (Bouvier))とされるが、複数種が含まれる可能性もある。
4	端脚目	マミズヨコエビ科	フロリダマミズヨコエビ	<i>Crangonyx floridanus Bousfield</i>				浜通り地方、中通り地方、会津地方それぞれから記録されており、県内には広く分布している。南会津町田島紙園公園の池、その下流側の水田水路に生息。		その他の総合対策外来種	①		

節足動物門蛛形綱

1	真正クモ目	ヒメグモ科	セアカゴケグモ	<i>Latrodectus hasselti Thorell</i>	○	緊急対策外来種		未定着、ただし、会津若松市(2013年9月4日)と三春町(2015年10月9日)から確認情報があった。	なし(ただし、人の生命・身体に甚大な被害を及ぼす危険性があるため、県による注意喚起はなされている)	重点対策外来種	④	福島県のHPにて、注意喚起(発見したときの対処方法、駆除方法など)がなされている。	日本の侵略的外来種ワースト100
---	-------	-------	---------	-------------------------------------	---	---------	--	---	---	---------	---	---	------------------

軟体動物門

1	柄眼目	コウラナメクジ科	マダラコウラナメクジ	<i>Limax maximus (Linnaeus)</i>				詳細は不明であるが、2010年に初確認。只見町では畑地に広く生息しており、民家周辺や畑で最も普通にみられるナメクジになっている。家の中に侵入してくるし、ピットフォールトラップにも落ちる。定着していることは確実。猪苗代町でも現認されている。	畑地が多いが、農作物への加害は不明。只見の特産である「えごま(じゅうねん)」の新芽を食べる。	その他の総合対策外来種			webによる情報(本種の研究者である宇高寛子氏(京都大学)のacademist(学術系クラファン)のwebページの分布図)。2019年に只見町での発見が福島民友で取り上げられたが、その2~3年ほど前から見つげられているため、侵入時期は2017年頃と推測される。
2	マルスダレガイ目	シジミガイ科	タイワンシジミ種群	<i>Corbicula fluminea-species complex</i>				県内各地の湖沼、池沼、河川に侵入しているものと思われる。現認(裏磐梯五色沼湖沼群毘沙門沼、会津川、早稲沢の水路、表磐梯の長瀬川、猪苗代湖、猪苗代町、福島市、南相馬市の河川)、文献(摺上川ダム、阿武隈川:大仏大橋、金山橋、新飯野橋、三春ダム)。	猪苗代湖ではマジシガミが激減してしましたが、タイワンシジミの個体数と分布拡大が原因であると思われる。	その他の総合対策外来種	①③		相馬市、南相馬市原町区太田川水系、福島市濁川流域、須賀川市稲川流域、棚倉町逆川地区周囲の水路、会津若松市門田地区で確認。伊達市保原高子沼周辺、福島市岡島宮畑遺跡、白河市南湖公園の生息個体も外来シジミ類と思われる。

線形動物門

1	葉線虫目	アフエレンクス科	マツノザイセンチュウ	<i>Bursaphelenchus xylophilus (Steiner &amp; Buhner) Nickle</i>				松枯れが発生している地域には広く分布している。会津地方(会津、南会津)、中通り地方(県北、県中、県南)、浜通り地方(相双、いわき地区)で確認されている。	福島県では1976年2月に郡山市で初確認されたが、平成30年度の林野庁の統計データによれば、被害量は全国第2位(329,000m <sup>3</sup> )となっている。	その他の総合対策外来種	①④	自治体によっては、被害拡大防止のため、松枯れ病の発生の情報提供を呼びかけたり、被害への対応方法を紹介したりしている。	
---	------	----------	------------	---	--	--	--	--	--	-------------	----	--	--

外肛動物門

1	掩喉目	オオマリコケムシ科	オオマリコケムシ	<i>Pectinatella magnifica (Leidy)</i>				摺上川ダムでは2015年、2020年に確認されている。文献(阿武隈川:弁天橋、新飯野橋、摺上川ダム)、Web情報(須賀川市牡丹園、矢吹町)	個虫は1.5mmほどであるが、巨大な群体を形成し、ダム湖やため池などで大発生することもあるため、景観を損ねたり、死んだ群体による腐敗臭や取水口・水門を詰まらせるなどの被害が生じる可能性がある。	その他の総合対策外来種	④		尾瀬沼での目撃例もある。
---	-----	-----------	----------	---------------------------------------	--	--	--	---	--	-------------	---	--	--------------